

● まずは問題を解いてください(解答時間:15分)

問1 神経系に関する記述として適切なのはどれか。

- ① 神経細胞の軸索末端と次の神経細胞との接合部をネフロンという。
- ② 副交感神経の神経伝達物質はアセチルコリンである。
- ③ 交感神経が優位な状態では散瞳がみられる。
- ④ 脳幹には大脳、小脳、中脳、延髄が含まれる。
- ⑤ 中枢神経を保護する髄膜は外側からくも膜、軟膜、硬膜の3層構造である。

問2 腹膜腔内に存在する臓器ではないのはどれか。

- ① 腎臓
- ② 膵臓
- ③ 胃
- ④ 肝臓
- ⑤ 脾臓

問3 体重3kgの猫にある抗生物質の細粒(100mg/g)を薬用量20mg/kg BIDで4日間投与するとき、細粒は全部で何g必要か。

- ① 1.2g
- ② 3.6g
- ③ 4.8g
- ④ 5.2g
- ⑤ 6.0g

問4 写真の衛生昆虫についての記述で誤っているのはどれか。

- ① 卵から孵化してすぐは肢が6本だが成虫になると8本となる。
- ② 雌雄ともに吸血する。
- ③ 猫ひっかき病やペストを媒介する。
- ④ この動物は幼虫→さなぎ→成虫となる完全変態を示す。
- ⑤ 瓜実条虫の中間宿主となる。



問5 愛玩動物看護師法における対象動物ではないのはどれか。

- ① 文鳥
- ② モルモット
- ③ イヌ
- ④ ネコ
- ⑤ セキセイインコ

問6 狂犬病についての記述として適切なのはどれか。

- ① 狂犬病はらせん菌の感染により起こる人獣共通感染症である。
- ② この感染症は人での死亡例は過去10年で報告されていない。
- ③ 我が国では、法律により飼い犬に毎年1回の予防接種が義務付けられている。
- ④ 犬と人以外での感染はない。
- ⑤ 抗生物質の投与が有効である。

問7 II型アレルギーが関与するのはどれか。

- ① 接触性皮膚炎
- ② 免疫介在性溶血性貧血
- ③ 犬アトピー性皮膚炎
- ④ 猫伝染性腹膜炎
- ⑤ 全身性エリテマトーデス

問8 写真の検査で評価する項目はどれか。

- ① 角膜の傷害
- ② 水晶体の混濁
- ③ 眼圧の測定
- ④ 網膜の構造
- ⑤ 視神経の異常



問9 次の抗がん剤のうち、心毒性を持つものはどれか。

- ① シスプラチン
- ② メトトレキサート
- ③ シクロホスファミド
- ④ ビンクリスチン
- ⑤ ドキソルビシン

問10 股関節形成不全で認めることが多い身体検査所見として正しい組み合わせはどれか。

- a: モンローウォーク
- b: ドロワーサイン
- c: ナックリング
- d: パンチアウト
- e: オルトラニサイン

- ① a、b
- ② b、c
- ③ c、d
- ④ d、e
- ⑤ a、e

問1 神経系に関する記述として適切なのはどれか。

- ① 神経細胞の軸索末端と次の神経細胞との接合部をネフロンという。
- ② 副交感神経の神経伝達物質はアセチルコリンである。
- ③ 交感神経が優位な状態では散瞳がみられる。
- ④ 脳幹には大脳、小脳、中脳、延髄が含まれる。
- ⑤ 中枢神経を保護する髄膜は外側からくも膜、軟膜、硬膜の3層構造である。

● 形態機能学 ～神経系～

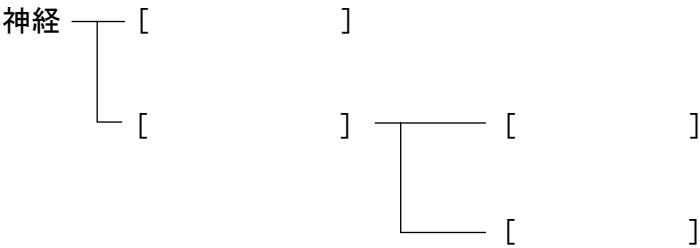
基礎講座 第1回

神経系……[]と[]の2種類からなる

(1)神経細胞

(2)神経膠細胞

⇒[]、[]、[]、[]がある



問2 腹膜腔内に存在する臓器ではないのはどれか。

- ① 腎臓
- ② 脾臓
- ③ 胃
- ④ 肝臓
- ⑤ 脾臓

● 形態機能学 ～組織・器官～

体腔・・・体内で外界と接していない部分

- ・ []...
- ・ []...
- ・ []...

問3 体重3kgの猫にある抗生物質の細粒（100mg/g）を薬用量20mg/kg BIDで4日間投与するとき、細粒は全部で何g必要か。

- ① 1.2g
- ② 3.6g
- ③ 4.8g
- ④ 5.2g
- ⑤ 6.0g

● 薬理学 ～計算問題～

計算問題漬け①

計算問題漬け②

問4 写真の衛生昆虫についての記述で誤っているのはどれか。

- ① 卵から孵化してすぐは肢が6本だが成虫になると8本となる。
- ② 雌雄ともに吸血する。
- ③ 猫ひっかき病やペストを媒介する。
- ④ この動物は幼虫→さなぎ→成虫となる完全変態を示す。
- ⑤ 瓜実条虫の中間宿主となる。



● 公衆衛生学

感染症漬け

基礎講座 第9回



問5 愛玩動物看護師法における対象動物ではないのはどれか。

- ① 文鳥
- ② モルモット
- ③ イヌ
- ④ ネコ
- ⑤ セキセイインコ

● 関係法規 ～愛玩動物看護師法～

基礎講座 第13回

関係法規漬け

愛玩動物看護師法（所管省庁： ）

- ・ 対象動物
- ・ 愛玩動物看護師には、国家試験に合格し[]に登録されて免状が発行される
※登録内容に変更があった場合は[]日以内に届出
- ・ 愛玩動物看護師は[]に行う、投薬、採血、マイクロチップ装着、カテーテル採尿などを実施することが可能である

問6 狂犬病についての記述として適切なのはどれか。

- ① 狂犬病はらせん菌の感染により起こる人獣共通感染症である。
- ② この感染症は人での死亡例は過去10年で報告されていない。
- ③ 我が国では、法律により飼い犬に毎年1回の予防接種が義務付けられている。
- ④ 犬と人以外での感染はない。
- ⑤ 抗生物質の投与が有効である。

● 人獣共通感染症学

基礎講座 第8回

基礎講座 第13回

狂犬病〔 〕の感染により起こる)

・すべての〔 〕に感染し、発症すると〔 〕の致死率

・感染動物の〔 〕に含まれ、〔 〕により感染する

⇒末梢神経からウイルスが侵入し、脳や脊髄に移行する

・有効な治療法はないが、暴露後にワクチンを積極的に接種する方法はある(暴露後免疫)

・〔 〕(所管省庁:)

－ 飼い主は飼い犬を〔 〕に登録する義務がある(→〔 〕を交付)

－ 飼い犬に〔 〕の狂犬病ワクチンを接種しなければならない(→〔 〕を交付)

－ 鑑札と注射済票は犬に装着しておかなければならない

－ 輸入時検疫が必要な動物:



問7 II型アレルギーが関与するのはどれか。

- ① 接触性皮膚炎
- ② 免疫介在性溶血性貧血
- ③ 犬アトピー性皮膚炎
- ④ 猫伝染性腹膜炎
- ⑤ 全身性エリテマトーデス

● 免疫学 ～アレルギー疾患～

基礎講座 第8回

アレルギーの分類	機序	疾患の例
I型アレルギー	〔 〕の表面に発現するIg__に抗原が結合すると脱顆粒により反応が起こる	
II型アレルギー	自分の細胞や組織に対して抗体が産生されその攻撃により起こる反応	
III型アレルギー	抗原と抗体の結合したもの(抗原抗体複合体)により組織障害が起こる	
IV型アレルギー	細胞性免疫が関与する	

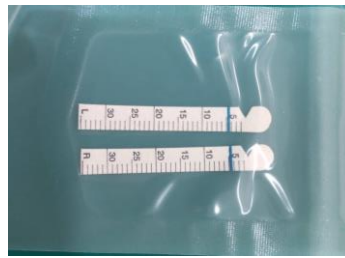
問8 写真の検査で評価する項目はどれか。

- ① 角膜の傷害
- ② 水晶体の混濁
- ③ 眼圧の測定
- ④ 網膜の構造
- ⑤ 視神経の異常



● 内科学/臨床検査学 ～眼科検査～

基礎講座 第11回



問9 次の抗がん剤のうち、心毒性を持つものはどれか。

- ① シスプラチン
- ② メトトレキサート
- ③ シクロホスファミド
- ④ ビンクリスチン
- ⑤ ドキソルビシン

● 薬理学 ～抗がん剤～

基礎講座 第7回

・ 細胞の分裂周期に関して作用する→[]
例)

細胞の分裂周期に関係なく作用する→[]
例)

[抗がん剤の副作用について]

- ① []
- ② []
- ③ []

問10 股関節形成不全で認めることが多い身体検査所見として正しい組み合わせはどれか。

- a: モンローウォーク
- b: ドロワーサイン
- c: ナックリング
- d: パンチアウト
- e: オルトラニサイン

- ① a、b
- ② b、c
- ③ c、d
- ④ d、e
- ⑤ a、e

● 内科学 ～運動器疾患～

基礎講座 第11回

(1) 整形外科的な触診…特定の疾患に際して起こる所見から診断を実施する

- ① []:[]の診断法の1つで、後肢を動かすことで大腿骨頭が寛骨臼から脱臼したり整復したりする様子
- ② []:[]の所見の1つ、膝関節の前方への安定性を確認する検査
- ③ []:[]の状態を評価する際に実施する

(2) 代表的な疾患

- ① []
 - ・ 股関節の形成不全と変性を示す病態⇒股関節の不安定
 - ・ 症状: 筋肉の萎縮, 軽度の跛行, 歩行異常([]), 起立異常など
 - ・ 遺伝的な要因が関わり, []や[]などの大型犬
 - ・ 身体検査で[]を認める
 - ・ 治療は, 保存療法や外科的治療を選択する
 - ② []
 - ・ ほとんどの症例(70-80%)は[]
 - ・ 好発犬種は, トイプードルやヨーキーなどの小型犬⇒[]が多い
ラブラドルなどの大型犬⇒[]が多い
 - ・ 症状の程度をグレード分類する
 - ③ []
 - ・ 前十字靱帯断裂は, 片側あるいは両側に発生
⇒片側を断裂した犬の約40%で1年半以内に反対側も断裂を起こす
 - ・ 好発犬種:
 - ・ 多くは[]変性, 過剰な運動, 交通事故などの外傷が原因
 - ・ 一般的には[]発生する
 - ・ []を認める(挙上もある)
 - ・ []を認めたり, []で確認する
- ※レントゲン検査は, 足を[]した状態で撮影する